

圃原材料価格高騰対応等緊急補償制度について。

圃長職務代理者 本制度は、原油・原材料価格の高騰や仕入価格の高騰を転嫁できていない中小企業の資金繰りを支援するため、現行制度の抜本的な拡充・見直しが行われたものであり、鬼北町でも、制度について広報誌に掲載するなど周知を図っている。申請件数の状況は、制度が見直される前の4月から10月までの7カ月間で計14件、月平均2件であったものが、新制度が開始された11月には5件、12月には9件、1月には2件と大きく増加しており、新制度の情報が浸透してきているのではないかと推察している。

今後中小企業にとって厳しい経営環境が続くと考えられるので、金融機関、信用保証協会、商工会と連携を図り、新しい制度の周知に努めたい。

圃奈良川沿いのテニスコートの改善について。

圃長職務代理者 当施設の日常の維持管理は、利用者の皆さんにお願いしているが、修繕等は町で実施すべきであると考えているので、施設利用者の方々の意見を参考に、早急に修繕したいと考えている。

圃町内ゲートボール場の改善について。

圃長職務代理者 出目新田地区の旧いずみ保育所に設置している子ども用遊具は、老朽化していることから、撤去する方向で検討したい。

奈良川沿いゲートボールコート
の周りの柵も老朽化が著しくなっている。施設の利用者の方々と相談して、今回は、入口の車が進入できる場所以外の老朽化した柵を撤去することとしたので、ご了承いただきたい。

圃要介護認定者に対する障害者控除の証明書発行について。

圃長職務代理者 鬼北町では、対象者もしくは親族からの申請に基づき、必要に応じて調査あるいは主治医の意見書を求めるなどして、適正に障害者控除の証明書を発行しているものと認識している。

近隣の市町も同様の処理を行っているというが、松山市では、申請があった場合、議員ご承知の処理を行なっているようであり、要綱の見直しは、国・県の指導および近隣市町の動向等を見極めた上で、今後の検討課題としたい。

圃雇用対策について。

圃長職務代理者 町としても、失業者の雇用の場の確保に努め、国が計画している「緊急雇用創出事

業」および「ふるさと雇用再生特別交付金事業」を平成21年度に日吉夢産地や森の三角ぼうし等で実施するよう、現在、県に計画書を提出している。今後、国などの緊急雇用対策施策の活用を図り、また、関係機関とも情報交換を行いながら、町内企業にも国の支援制度や雇用対策情報の提供に努めていかなければならないと考えている。

鬼北町への正規職員の採用は、松野町との合併も視野に入れた中で、既に平成21年度の採用予定者を決定しており、今後も総人件費を抑制する方針であることから、速やかな対応は難しいが、長期的には、定員管理適正化計画の枠の中での対応になると考えている。臨時職員の採用も、既に内定しているが、今後、必要な部署で可能な限り対応できるよう新町長と協議検討したいと考えている。

圃通学路の路面のはく離について。

圃長職務代理者 諸通行に危険を及ぼすような陥没は、これまででも早急に対応しているが、それ以外のはく離等は、公民館を通じて毎年行なっている地区割り当ての舗装工事に対応したいと考えている。

山本 重夫 議員

◎四万十川の清浄化について

圃広見川の水質浄化数値等の状況について。

圃長職務代理者 川の汚れを測る代表的な指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）から、水質環境基準の評価を行っている。BODは数値が大きいほど汚れていることを表しており、水質汚濁の環境基準は、広見川でBODが1ℓ当たり2mg以下となっている。

広見川におけるBODの数値の推移は、平成14年度は1ℓ当たり平均1・0mgであったが、平成18年度は平均0・6mg、平成19年度は平均0・7mgという測定結果を示している。これらはいずれも環境基準をクリアしており、水質の改善が見られる結果となっている。

広見川の流域では、上流部の日吉地区で、平成15年度以降合併処理浄化槽が151基設置されており、また、農業集落排水処理施設が2地区で整備されている。さらに、日吉地区の下流域でも、合併処理浄化槽の設置が続けられており、それらにより、近年広見川の水質浄化が進んでいると判断している。

町としては、今後とも合併処理浄化槽等生活排水処理施設の整備